

2 学校評価のまとめ

平成26年度 目黒区立第十一中学校 学校評価のまとめ

評価項目	自己評価の結果	次年度の教育課程の改善点
学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて	・おおむね良好な評価である。最近の学校全体の落ち着きから、生徒だけではなく、保護者もPTAの活動の中で大変良い人間関係を築いている。1年生入学時に学校長からの面接を含め、年4回の担任等との教育相談、多くの保護者との会を持ち、今年度も教職員はさまざまな生徒や保護者の学校への期待や要望をつかむ機会が多く、それをうまく使って教育活動に取り組んでいる。 <四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題 ○学校生活の充実度は90パーセント以上は変わらない。 ●90パーセントを越えてはいるが、昨年度よりも多少下がってきていることを受け止めて、改善点を視野に入れて活動する。	・多少ではあるが、評価の数値が少し下がっていることから、例年どおり、生徒や保護者との信頼関係を深めるために、年4回の教育相談と年3回の保護者会、1年生入学時の校長面接、また様々な会で行われる保護者との話し合いを今後も続け、生徒理解や生徒情報をつかむようにする。 <学校評価委員の意見> ・例年どおり学校全体に落ち着きがある。生徒も意欲的に取り組んでいる。行事をつぶさずに、しっかりとこなしているのが良い。
I 学校目標について ・教育目標、時程、教育内容全体について	・学校目標全体については、四者すべてに理解され、90パーセント以上の高い評価をもらっている。 <四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題 ○すべての項目で高い評価を受けている。	・本校の特色である学力向上をより確かな学力を身につけるために今後も習熟度別少人数授業を続けていく。 <学校評価委員の意見> ・適切な教育目標ではあるが、毎年、生徒に浸透させる努力を続けてほしい。
II 心の教育について ・道徳の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について	・学力向上と同じように本校の重点項目として位置づけており、道徳の授業を中心として心のふれあいを教員と生徒、生徒と保護者、生徒同士というように様々な場面で行っている。その結果、道徳授業に対する評価も高まってきた。 <四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題 ○昨年度に引き続き心の教育ができていているという評価が高い。	・道徳授業地区公開講座を中心として年間計画を立てた中で、全教員（副担任）も含めて授業に取り組んでいけるようにしていくことを来年度以降も引き続き取り組む。 <学校評価委員の意見> ・豊かな心を育てる教育ができていている。

<p>Ⅲ 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着・向上にむけた授業の改善・充実、少人数指導、〇〇タイム等の取組について ・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業の定着を高く評価され、昨年度の保護者6割生徒7割の評価から10パーセント以上高い評価を得ている。 ・宿泊を伴う体験活動等、90パーセント以上の評価を得ている。 <hr/> <p><四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『工夫ある授業』を行っているということの評価が高い。 ○本校独自のサマースクール（生き方教育）で、多くの講師を招いて様々な取り組みを行うことに対して保護者・生徒だけではなく、参観にきた地域の方々からも高い評価を受けている。 ○本校の特色ある教育を来年度以降も続けていってほしい。 ●保護者・生徒からの評価と教員の評価とがかけ離れているところがある。（保護者生徒の評価が低く、教員の評価が高い。差は15パーセント）教員の意識付けをしっかりとしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度から少人数授業が習熟度別になることからより確かな学力の定着を目指す。 ・保護者生徒と、教員の数値に隔たりがあることから教員の姿勢を見直し、真摯な態度で取り組む。 <hr/> <p><学校評価委員の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・徐々にではあるが学習の定着をはかれるようになった。 ・少人数授業を複数教科（国語・英語・理科・数学）で行うことで格差をなくす努力をしている。 ・サマースクールは毎年有意義な内容を行っていて良い。
<p>Ⅳ 体育・健康教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の促進、体力の向上に向けた取組の充実について 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に向けた取り組みは今回も高く評価されている。体育的行事の充実により体力向上は調査結果からも昨年度より上向きである。 <hr/> <p><四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今年度も生徒は懸命に体力向上に努力し、保護者の評価も昨年度に引き続き向上している。教員も自覚し、生徒の健康状態に特に気をつけている姿勢が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会、持久走大会、区連体に向けた練習等今後も体力向上のための取り組みを重ねていく。 <hr/> <p><学校評価委員の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育的行事も比較的多く、懸命に努力する生徒の姿やそれを指導する教職員の姿からしっかりとした取り組みができていていると感じる。
<p>Ⅴ 特別活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の活性化などについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事をなくさずに行っていること、なおかつ授業時数を確保していることが高く評価されている。 ・部活動については3部活が夏の都大会に出場を決めるなど日頃の地道な努力が成果をあげている。 <hr/> <p><四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほぼ9割以上の評価を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事をなくすことなく、本校独自の行事なども含めて生徒の情操教育に役立てるよう努力する。 <hr/> <p><学校評価委員の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事や部活動が活発で授業時数も確保されていることが評価できる。

VI 学校生活全般について

<p><生活指導> ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて</p>	<p>・生徒は秩序を保ち、仲良く楽しく生活している。小さな いじめ、不登校もあるが、しっかりとすぐに対応している。</p> <p><四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題 ○学校の生徒一人ひとりの対応と取り組みが高く評価されるようになった。</p>	<p>・いじめに関しては年2回のアンケートの実施や面談等をいかし、早急に見つけ、不登校に関しては家庭訪問等を実施する。</p> <p><学校評価委員の意見> ・生徒が楽しそうな様子がわかる。</p>
<p><防災教育・安全指導> ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて</p>	<p>・住区と連携をとり、避難所運営訓練を行うなど、地域とともに防災・安全教育に取り組んでいる。</p> <p>・サマースクール等で情報モラルについての授業を行うなどして充実を図っている。</p> <p><四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題 ○避難所運営訓練だけではなく、宿泊訓練を高く評価された。</p>	<p>・今後も地域と連携をとり、防災教育の充実を図る。そのために中小連携の取り組みに組み入れたり、宿泊訓練等を取り入れたりする。</p> <p><学校評価委員の意見> ・地域的に防災に関して高い実績をあげている。</p>
<p><幼・保・小・中連携> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園との連携について</p>	<p>・年に3回授業連携を行い、6年生と中一を中心としてお互いの学校で授業研究を行っている。今回より多くの連携の場を設けたが、今後も中一ギャップ解消を目指して取り組んでいく。</p> <p><四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題 ○保護者からは小学校との連携がしっかりととれているという評価を引き続き受けている。</p>	<p>・理数フロンティア校2年目として、理数教科を中心として授業連携ができた。今後も様々な形で交流を深めていく。</p> <p><学校評価委員の意見> ・小学校との連携がよくとれている。引き続き、連携をとってもらいたい。</p>
<p><環境教育> ・節電、リサイクル、緑化などへの取組について</p>	<p>・エコへの取り組みはしているものの実際に成果を上げているものが少ない。</p> <p>・節電に関しては日頃から不要な電気を消すなどして取り組んでいる。</p> <p><四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題 ●取り組みが前面にでないことから、評価されることが少なかったが、少しずつ取り組みが評価されるようになった。</p>	<p>・グリーンアクションプログラムの取り組みを活発にし、より具体的な見える取り組みをしていく。取り組み内容として本校を取り巻く環境を生かしてゴーヤを使ったグリーンカーテンなどを栽培する。</p> <p><学校評価委員の意見> ・昨年度あまり成果がみえていないようであったが、今年度は取り組みが評価されるようになったようである。</p>

VII 地域との連携

・学校の情報発信や地域人材の活用、保護者の協力状況、PTA 活動の充実などについて

- ・学校ホームページの毎日のアップや、月1～2回の学校便りの発行、各学年便りの週ごとの発行等行っており、評価を受けている。
- ・学習ボランティアを地域保護者から募り、授業内の見守りをおこなってもらうなど、生徒の安全に対して成果を得ている。
- ・本校PTA活動は学校と連携をとり、毎月の定例会をはじめとしてすべての学校行事に『協力メンバー』と名付け、毎回参加している。

<四者による学校評価の主な内容>○成果 ●課題
○とくに保護者からは今年も高い評価を受けている。

- ・PTA活動に関しては引き続きおこなってもらおう。
- ・今後も、学校の情報発信に関しては学校ホームページを含めて学校だより、学年だより等で配信していく。また学校便りは月2回の発行を目指す。

<学校評価委員の意見>
・地域・保護者・教員の三位一体となった教育活動の成果があらわれていることから、大変高い評価があげられる。

